

# あ ぜ み ち 通 信

\* \* \* \* \*

8 月 1 日  
2005年(平成17年)

農業会議ミニレター(第56号)  
編集・発行：愛知県農業会議

## ◎ 農業経営基盤強化促進法等農地制度改革に関する対応方針について

農業経営基盤強化促進法等の農地関連法が改正されましたが、これらに関する「対応方針」が取りまとめられ7月1日付けで全国農業会議所から通知がありましたので、本会から7月7日付けで各農業委員会に送付しました。

これは新たな基本計画、農地制度改革を踏まえた農業委員会の取り組みとして、①農用地利用集積計画に基づく農地の利用権の設定を通じた担い手への農地の利用集積、②耕作放棄地の発生防止・解消に向けた指導の強化、③不法投棄等の違反転用事案への立入調査等の活用による迅速な対応、の3点についての役割と機能が明確に位置付けられたことによるもので、農業委員会系統組織としてはこれまで以上に、農業・農村現場における制度の適正かつ的確な運営に努めるとともに、目に見える形での成果の達成が求められております。

業務量の増大と複雑・困難な事案対応が求められる一方、市町村合併の進展等による農業委員数の大幅な減少と三位一体改革による農業委員会交付金及び関係予算縮減で農業委員会の組織体制や運営面で大変厳しいことと思っておりますがよろしく願いします。

## ◎ 8月～10月は全国統一「農地パトロール月間」です！

農業委員会系統組織では、昨年度までの「地域農業再生運動」の検証を踏まえ、平成17年度から19年度までの3ヶ年を期間とする「農地と担い手を守り活かす運動」を立ち上げ、農地と担い手に重点を置いた取り組みを徹底することとしています。

「農地パトロール月間」は、こうした運動期間を定めて集中的に推進するためのものです。特に、①遊休農地の実態把握と発生防止・解消対策、②農地の無断転用防止対策を重点とし、農業委員会系統組織として全国統一的に実施するものです。

本年6月に農業経営基盤強化促進法等が改正され、遊休農地の体系的整備において、遊休農地に対する農業委員会の指導(農業経営基盤強化促進法第27条第1項)が制度上、これまで以上に重要になってきております。

7月7日付けで「平成17年度『農地パトロール月間』実施要領」を各農業委員会に送付しましたので、これらを参考にして積極的な取り組みをお願いします。なお、農地パトロールを実施する際には、全国農業図書館の農地パトロール3点セット(農地パトロール・マグネット板《自動車用》、農業委員会腕章、農業委員キャップ)をご活用いただき、目に見える農業委員会活動の展開をお願いします。

◎ 農林水産省佐藤審議官らと意見交換・・・・・・・・・・

**作業受託も経営所得安定政策の対象となるよう要請**

7月13日、農林水産省大臣官房の佐藤政策評価審議官や経営局の柄澤経営政策課長、東海農政局の吉田局長などと、愛知県側は、農林水産部の松木部長、小出理事、平光技監、農協中央会の野村会長、石川専務、経済連の松原理事長、農業会議の松平事務局長などとの意見交換の場が持たれました。これは、平成19年度から予定されている品目横断的経営安定政策についての具体的な仕組みや対象について、現場の意見を国が直接聴きたいということで、急遽設定されたものです。県段階の意見交換会に先立ち、午前中には、現場の声を聴くために安城市を訪れ、神谷市長、JAあいち中央の鳥居組合長などとも意見交換を行いました。

県・農業団体としては、愛知県における水田農業が、特に転作作物を中心として受託作業によるウエイトも高く、またこれらの多くを認定農業者等によって担われているという実態から、対象とならない場合は認定農業者等の経営も成り立たない恐れもあり、経営安定対策の対象として受託作業を対象とするよう強く国に求めました。国としては、経営のリスクを負っているかどうか判断基準となるという説明に止まり、具体的な検討については夏から秋にかけて議論、その後結論が下されることとされております。

◎ 県下71農業委員会中、61農業委員会で統一選挙

第19回農業委員統一選挙が7月10日、全国一斉に行われました。本県では71農業委員会中、61農業委員会で選挙が行われ、選挙定数932人に対し934人の立候補があり、2農業委員会で投票が行われました。投票が行われたのは、岩倉市と豊橋市の第1選挙区で、投票率は68%、75%でした。

なお、現在「第19回農業委員統一選挙後の全農業委員会の体制等に関する状況報告」をお願いしております。選挙委員・選任委員について、女性農業委員、認定農業者農業委員、年齢別などの状況を調査しており、これらがまとめ次第、次回に報告させていただきます。

◎ 常任会議員会議の審議状況

去る7月15日に開催された常任会議員会議では、知事諮問案件として農地法第4条に基づく転用事案51件 28,499平方メートル、第5条に基づく転用事案 362件 334,662平方メートルが審議され、いずれも許可して差し支えない旨、答申されました。

また、農業振興地域の整備に関する法律第15条の15に基づく知事諮問案件2件についても審議され、許可することが相当と認め、答申しました。

なお、最後に吉川会長から、今回の常任会議員会議は、会議員の任期としての最後となることから、3年間にわたる協力と指導に対し感謝の言葉が述べられました。

◎ 県域認定農業者組織連絡会を開催・・・・・・・・愛知県担い手育成総合支援協議会

7月27日名古屋市民会館で、愛知県担い手育成総合支援協議会主催により認定農業者の組織化がされている稲沢市、豊明市、大府市、知多市（当日欠席）、岡崎市、碧南市、豊橋市の各認定農業者組織の会長、事務局との会議が開催されました。これは、県内各地で設立されている各組織の連携を図るとともに、認定農業者の交流

を深めることにより認定農業者の経営意識改革を進めることを目的として開催されたものです。会議の席上、各組織から特徴ある活動内容が報告され、今後の活動に向けた有意義な議論がなされ、県域での組織づくりについても熱心な話し合いがされました。

◎ **全国共済農協連会長に野村弘氏（本会常任会議員）**

愛知県農協中央会の野村会長が28日開催のJA全国共済連の通常総代会後の経営管理委員会・理事会において会長に選任されました。

◎ **新たな会長に伊藤善彦氏を選出・・・・・・・・・・愛知県稲作経営者会議**

愛知県稲作経営者会議（山本善博会長、事務局；愛知県農業会議）は7月13日、名古屋クラウンホテルで会員81名中61名の参加を得て平成17年度の通常総会を開催しました。

総会では平成16年度の事業報告と収支決算の承認、平成17年度の事業計画及び収支予算などが原案のとおり承認されました。また、役員が改選され、会長には稲沢市（旧祖父江町）の伊藤善彦氏、副会長には長久手町の近藤文敏氏と安城市の林茂樹氏が選出されました。

総会終了後、稲作経営者会議理事（豊川市農業委員会会長）で有限会社トヨタライスセンター代表取締役社長の豊田孝一氏の「稲作経営者会議はこうあるべきだ」と題した記念講演が行われ、その後、情勢報告として、まず農林水産省大臣官房の佐藤政策評価審議官のあいさつがあり、次いで経営局の柄澤彰経営政策課長から「新たな経営安定対策の実施について」の説明を受けました。説明後の意見交換では、会員から多くの質問が出され、柄澤課長と吉田東海農政局長が答えるなど活発な意見交換の場となりました。

◎ **山崎賞に笹山忠氏（元農協中央会常務）ら3氏に授与**

（財）山崎延吉頌徳会はこのほど、第50回山崎賞の受賞者を決定しました。本年度の受賞者は、農村振興功労者として笹山忠氏（元愛知県農協中央会常務理事、瀬戸市）、農業教育功労者として原田隆之氏（前愛知県立新城高等学校校長、豊川市）、優秀農業学徒として内田浩範君（愛知県立安城農林高等学校卒業、現在玉川大学在学中）の3氏で、表彰式は7月19日（火）明治用水会館において行われました。

なお、表彰式に先立って臨時評議員会が開催され、（財）山崎延吉頌徳会の解散並びに事業残余財産の承継、（財）山崎延吉頌徳会及び（財）岩槻技師業績顕彰会並びに（財）愛知県農業振興基金の統合に関する協定について、が協議され原案のとおり承認されました。表彰式と記念講演、第50回記念祝賀会の後、理事会が開催され、上記評議員会での議事事項について決定され、伝統ある山崎賞と岩槻賞が新たな名称で次年度以降（財）愛知県農業振興基金に引き継がれることになりました。

◎ **平成17年度「新規就農に関する情報収集調査」についてお願い**

全国農業会議所と都道府県農業会議は、各市町村農業委員会を通じて昭和62年度から新規就農候補農地及び家屋、農業関係施設の存在状況について調査を行い、新規就農希望者へ農地等の情報提供をする就農相談活動を行ってきました。

今年度においても、調査内容を一部見直し引き続き実施することとされました。調査内容は、新規就農の受入意向に関する項目として、①受入の考え方、②就農形態の考え方、③受入支援事業とその種類・内容・条件等、④経営可能作物、⑤研修農場の仕組み、⑥受入支援組織など。また農地情報に関する項目としては、①受入可能地の状況、②取得下限面積、③家屋等の状況、④附帯主要施設、⑤交通手段等についてお聞きするものです。

調査時点は6月30日時点で、本会から送付されます調査票により、各集落の農業委員あるいは地域リーダーに依頼し、8月12日（金）までにご報告くださるようお願いいたします。詳細は、農業会議農政課の麻生技師にお尋ねください。

◎ 「地域における担い手・農地利用・遊休農地の実態と農地の利用集積等についての農業委員調査」の実施協力について（お礼）

改選前の全農業委員の方々を対象として、これまでの農業委員としての経験を踏まえた、それぞれの地域における担い手・農地利用・遊休農地の実態と農地の利用集積等の実情等についてお聴きした調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査項目も多岐にわたり、しかも7ページと、回答にはかなりの努力を要したにもかかわらず、今月末までに65農業委員会から1,254人の委員さんからアンケートの提出をいただきました。これら提出された調査票については、全国農業会議所に6月30日の第1次分を皮切りに順次4次に分けて送付させていただきました。全国農業会議所は回収した調査票の集計と分析を9月には完了する予定で、今後、各種の取り組みの基礎資料として活用されることとなります。

なお、未だ提出のない農業委員会、遅れて農業委員会事務局へ提出されたアンケートについては、すみやかに農業会議まで送付をお願いします。

◎ 京都市で全国農業委員会都市農政対策協議会の都市農政現地研究会を開催

全国農業委員会都市農政対策協議会（事務局；全国農業会議所）は、9月1日（木）、に京都市で「都市農政現地研究会」を開催します。

現地研究会は、寂光院や三千院を中心とした京都の観光名所として名高い京都市左京区大原地区です。大原地区は都市地域でありながら2004年7月に30haの農地を農業振興地域農用地区域の指定を受け、景観法に基づく先進的な事業着手に取り組んでおります。当日は、その取り組みの核として活躍されている農業委員で、NPO法人「京都大原里づくり協会」常務理事の宮崎氏及び同氏と現地でこの活動に早くから関与されている地域計画建築研究所の山口副社長のコーディネートで現地視察が予定されています。都市農業のあり方として参考になるものと考えられますので、各農業委員会担当者等の参加をお願いします。

詳細は、愛知県農業会議農政課の落合次長までお尋ねください。

◎ 「集まれ担い手！ 第8回全国認定農業者ふくしまサミット」参加者募集

全国の認定農業者をはじめ、農業法人や集落営農組織など多様な経営に取り組んでいる担い手が一堂に会し、相互の交流と連携を深め、新しい時代に向けた農業の

創造に向けて夢を語り合い、経営改革のための新たな挑戦を図ることを目的として全国認定農業者ふくしまサミットが開催されます。

第8回となる今回のサミットは、10月27日（木）から28日（金）にかけて、全体会議は福島県の郡山市熱海町で、地域交流会としての情報交流会と現地研修は、郡山市を始め福島市、二本松市、猪苗代町、会津若松市、いわき市が予定されています。大勢の参加を期待しますので奮ってご参加ください。参加申し込みは8月22日（月）までに愛知県農業会議・愛知県担い手育成総合支援協議会までに所定の申込書にてお願いします。詳細は、愛知県担い手育成総合支援協議会の沢田専任マネージャーにお尋ねください。

### ◎ 「愛」をテーマに全国農業青年交換大会が開催されます

次代の日本農業を担う全国の農業青年が一堂に会し、その知識や技術を相互に交換しながら、全国の仲間との交流・友情を深め、21世紀農業の担い手としての自信と誇りを培うとともに、社会全体への農業理解の促進を図ることを目的として、全国農業青年交換大会が8月24日（水）から26日（金）まで2,000名の参加者により愛知県で開催されます。

24日は名古屋国際会議場において開会式、活動成果発表、交流の夕べが、25日には県内10地域で全国からの参加者と地元農業青年との現地交流会が、26日には日進市民会館で閉会式が行われた後、愛知万博の視察が予定されています。

### ◎ 平成17年度都市農村交流推進現地研究大会のご案内

農山漁村の自然環境を保全しつつ地域特性に応じた体験農業等を計画的・組織的に進め、学童や都市生活者などに農林漁業への親しみと理解を深める場を提供しながら、農業者等の就業機会と所得の確保を図ることを目的とし、これらを達成するための推進体制などを研究討議し、また交流施設の視察研修するための都市農村交流推進現地研究大会が9月8日、9日に豊田市足助町で開催されます。参加申し込みは8月8日（月）までとされており。

詳細は j p. 都市農村交流推進協議会（東京都中央区八重洲1-5-3 Tel 03-3548-2714 FAX 03-3276-6772)にお尋ねください。

### ◎ 第5回「むらの伝統文化顕彰」が募集されています

農山漁村の魅力とその伝承活動を広めていくことを目指して、農林水産省、オーライ！ニッポン会議及び（財）都市農山漁村交流活性化機構による「むらの伝統文化顕彰」が実施されますので、農山漁村伝統文化を活用した自主的な活動をしている団体又は個人の応募をお願いします。

対象となるのは、例えば、今も受け継がれている技術や技能（和紙づくり、炭焼き、農法・・・）、今も営まれるむらの生活や習慣（共同作業＝茅葺き・野焼きなど、郷土食、信仰行事・・・）、むらの人々がつくる伝統的な風景（民家、蔵、船小屋、水車小屋、伝統的建造物や街並み・・・）、むらのみんなで支える行事（歴史や生産・暮らしに結びついた祭事、芸能＝農村歌舞伎・踊り・神楽・太鼓・・・）、年中行事（正月・農耕行事・・・）などです。

昨年度は愛知県知多市の岡田街並保存会の「木綿蔵のある街並み」が農林水産省

農村振興局長賞として受賞団体となりました。

詳細につきましては、事務局である（財）都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）(Tel 03-3548-2718 FAX 03-3276-6771)にお尋ねください。

◎ **農業会議会長賞は西尾市の小林智鶴さんのてん茶に・・第37回愛知県茶品評会**

第37回愛知県茶品評会が7月12、13日、県農業総合試験場東三河農業研究所研修館で出品茶の審査会を開催し、特別賞を始めとして入賞96点を選定しました。

農林水産大臣賞には西尾市の小林晋弥さんのてん茶が、東海農政局長賞には豊田市の山内希男さんのかぶせ茶が、知事賞には豊橋市の岡本広巳さんの普通せん茶、同じく前田新一郎さんの深蒸しせん茶、豊田市の石川哲雄さんのてん茶が、愛知県農業会議会長賞には西尾市の小林智鶴さんのてん茶が選ばれました。

なお、表彰式は11月12日の吉良町で開かれる県茶業振興大会の式典で行われる予定です。

◎ **「なごや農業フェスタ2005」盛大に開催**

名古屋市となごや農業フェスタ2005実行委員会の主催による「なごや農業フェスタ2005」が7月27日から31日までの5日間、愛・地球博ささしまサテライト会場で盛大に開催されました。市民展示館では、市内の朝市・青空市が集結し新鮮農産物の即売、農と花のディスプレイ、体験教室が行われました。ステージでは直木賞候補農民作家の山下惣一さんの食と農についてのトークショー、伝統芸能、マジックショーが、ステージ前広場ではトラクターで記念撮影、稲の脱穀体験などの盛りだくさんのイベントが行われ、大勢の人で賑わいました。。

なお、7月6日名古屋市農業センターで審査された第54回名古屋市農産物品評会の表彰式も28日に行われ、市長賞には山口平太郎さん（出品財；バレイショ）始め5点、農業会議会長賞は天白区の小島恒雄さん（出品財；バレイショ）に授与されました。

◎ **愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）**

豊橋市 田 嶋 敬 二 さん・理 絵 さん（7月 2日挙式）

渥美町 渡 会 裕 さん・英 美 さん（7月 3日挙式）

〃 細 田 勝 久 さん・紀美子 さん（7月11日挙式）

ご結婚おめでとうございます。ご多幸とご活躍をお祈りします。

◎ **今後の主な行事予定**

8月 1日（月）愛知県農業委員会事務研究会総会・研修会（水産会館）

8月 2日（火）尾張支部農業委員会会長・事務局長会議（白壁庁舎）

8月 3日（水）東三河支部農業委員会会長・事務局長会議（豊橋市役所）

8月 4日（水）豊田加茂支部農業委員会会長・事務局長会議（豊田市役所西庁舎）

西三河支部農業委員会会長・事務局長会議（西三河総合庁舎）

8月4～5日 第38回愛知県山村花き品評会（愛知新城大谷大学）

8月 5日（金）海部支部農業委員会会長・事務局長会議（海部総合庁舎）

知多支部農業委員会会長・事務局長会議（住吉福祉文化会館）

- 8月 5日 (金) 平成17年度海部地区農業委員会協議会臨時総会 (海部総合庁舎)  
 8月 8日 (月) 新城設楽農業委員会会長・事務局長会議 (新城市民体育館)  
 8月 9日 (火) 全国農業新聞重点普及農業委員会担当者会議 (第2ダイヤビル)  
 8月10日 (水) 農業会議賛助団体会議 (白壁庁舎)  
 8月12日 (金) 農業会議支部長会議 (白壁庁舎)  
 8月23日 (火) 愛知県農業会議平成17年度第1回総会 (愛知県産業貿易館本館)  
 8月24～26日 第17回全国農業青年交換大会 (名古屋国際会議場ほか)  
 8月30日 (火) 愛知県農林水産技術会議農業専門分科会 (農総試)  
 8月31日 (水) 常任会議員会議 (白壁庁舎)  
 9月1～2日 都市農業対策協議会現地研究会及び作業部会 (京都市)  
 9月2～3日 第11回全国棚田 (千枚田) サミット (鳳来町)  
 9月8～9日 全国農業新聞重点普及農業委員会会長・事務局長推進会議  
 (長野県)

## 全国農業図書新刊のご案内

7月は新刊ラッシュ!! 参考となる書籍・リーフレットが盛りだくさんです!

### 農業法人の道 中巻 17-18・A5判・113頁 定価1,000円(税込) 7月18日発行

先進的な経営を展開している21の農業法人の経営事例を取りまとめたもの。

また、座談会「これからの“農業法人の道”」——失敗談など経営実態と今後——も収録。

### 交換分合ハンドブック 17-29・A4判・45頁 定価550円(税込) 7月5日発行

交換分合の概要と進め方や態様、補助事業、融資・税制上の優遇措置、農業委員会と土地改良区が行う交換分合の手続きを解説。農業者も活用したい手引き書。

### 平成17年度版 よくわかる農家の青色申告

17-17・A4判・89頁 定価700円(税込) 7月8日発行

青色申告制度、手続き、記帳の実務、確定申告書作成から申告までを記入例も交え、易しく解説。これから青色申告を始める人、青色申告農家、座右の手引き書。

### ブックレット4 女性の参画と農業・農村の活性化

17-13・A5判・44頁 定価350円(税込) 7月11日発行

女性農業者の経営における役割、起業による地域活性化、地域社会形成への参画などをめぐる現状と課題を事例を交えて検証。女性農業委員活動推進シンポジウムも収録。

### 増補改訂 農業構造の変化と農地制度

17-23・A5判・194頁 定価1,800円(税込) 7月19日発行

平成11年に刊行した初版本の増補改訂版。

農地改革以降の農業構造の実態と変化、それに対応した農地制度の変遷や構造政策の歩みを解説。農政上の集落の位置づけの経緯、株式会社の農業参入問題も言及。

### Q&A 農業法人化マニュアル2005

17-32・A4判・75頁 定価800円(税込) 7月26日発行

## 平成17年度版 農地の利用集積で地域農業の構造改革を進めよう 17-11・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月18日発行

認定農業者等担い手への農地の利用集積、地域農業の再生に向けたビジョンづくりを呼びかけるリーフレットです。農地の利用集積への支援措置も解説。

## 平成17年度版 遊休農地の発生防止と解消に取り組もう

17-12・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月5日発行

農地パトロールなど遊休農地解消策、遊休農地の活用方法、取り組み事例のほか、改正農業経営基盤強化促進法で強化された体系的な遊休農地対策を紹介したリーフレット。

## いきいきファーマー あなたも認定農業者

17-20・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月6日発行

認定農業者制度の普及・定着に向けたPRリーフレット。新たに経営改善計画記載例、経営管理チェックリストを追加。

## 魅力いっぱい農業者年金一年金の仕組みと政策支援一

17-21・A4判・リーフレット 8頁 定価80円(税込) 7月11日発行

少子高齢化時代を先取りした農業者年金制度の魅力・メリットを紹介、政策支援を受ける要件などを解説した農家PRリーフレットです。年金額の試算表も掲載。

## 魅力いっぱい農業者年金

17-22・A4判・リーフレット 4頁 定価45円(税込) 7月11日発行

上記「魅力いっぱい農業者年金一年金の仕組みと政策支援一」のうち、農業者年金制度のメリット、年金額の試算表を掲載した簡易版リーフレットです。

## 地域でつくろう担い手 17-31・A4判・リーフレット 4頁 定価30円(税込) 7月11日発行

新たな経営安定対策の検討が進み、担い手づくりが最重要課題になっている。地域のビジョン、担い手の明確化、認定農業者の確保、集落営農の組織化の必要性を訴えるリーフレット。

## 農業経営基盤強化促進法等改正のポイント

17-27・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月15日発行

農業経営基盤強化促進法、農振法、農地法等の改正の背景、改正のポイント、農業委員会の取り組みを分かりやすく解説した新刊のリーフレット。

## 消費税のあらましと農業 17-15・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月22日発行

消費税の基礎知識とポイント、消費税制度の仕組みを解説。消費税の課税事業者に該当するかどうかのチェック表、18項目のQ&Aも収録。消費税の啓蒙に最適。

## 平成17年度版 はじめよう！青色申告リーフ

17-16・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月21日発行

青色申告を始めようとする人のために記帳の義務、青申制度のポイント、申請書・届出の提出、税制上の特典を紹介したリーフ。



- 8月 5日 (金) 平成17年度海部地区農業委員会協議会臨時総会 (海部総合庁舎)  
 8月 8日 (月) 新城設楽農業委員会会長・事務局長会議 (新城市民体育館)  
 8月 9日 (火) 全国農業新聞重点普及農業委員会担当者会議 (第2グイヤビル)  
 8月10日 (水) 農業会議賛助団体会議 (白壁庁舎)  
 8月12日 (金) 農業会議支部長会議 (白壁庁舎)  
 8月23日 (火) 愛知県農業会議平成17年度第1回総会 (愛知県産業貿易館本館)  
 8月24～26日 第17回全国農業青年交換大会 (名古屋国際会議場ほか)  
 8月30日 (火) 愛知県農林水産技術会議農業専門分科会 (農総試)  
 8月31日 (水) 常任会議員会議 (白壁庁舎)  
 9月1～2日 都市農業対策協議会現地研究会及び作業部会 (京都市)  
 9月2～3日 第11回全国棚田(千枚田)サミット (鳳来町)  
 9月8～9日 全国農業新聞重点普及農業委員会会長・事務局長推進会議  
 (長野県)

## 全国農業図書新刊のご案内

7月は新刊ラッシュ!!参考となる書籍・リーフレットが盛りだくさんです!

### 農業法人の道 中巻 17-18・A5判・113頁 定価1,000円(税込) 7月1日刊

先進的な経営を展開している21の農業法人の経営事例を取りまとめたもの。

また、座談会「これからの“農業法人の道”」——失敗談など経営実態と今後——も収録。

### 交換分合ハンドブック 17-29・A4判・45頁 定価550円(税込) 7月5日刊

交換分合の概要と進め方や態様、補助事業、融資・税制上の優遇措置、農業委員会と土地改良区が行う交換分合の手続きを解説。農業者も活用したい手引き書。

### 平成17年度版 よくわかる農家の青色申告

17-17・A4判・89頁 定価700円(税込) 7月8日刊

青色申告制度、手続き、記帳の実務、確定申告書作成から申告までを記入例も交え、易しく解説。これから青色申告を始める人、青色申告農家、座右の手引き書。

### ブックレット4 女性の参画と農業・農村の活性化

17-13・A5判・44頁 定価350円(税込) 7月11日刊

女性農業者の経営における役割、起業による地域活性化、地域社会形成への参画などをめぐる現状と課題を事例を交えて検証。女性農業委員活動推進シンポジウムも収録。

### 増補改訂 農業構造の変化と農地制度

17-23・A5判・194頁 定価1,800円(税込) 7月19日刊

平成11年に刊行した初版本の増補改訂版。

農地改革以降の農業構造の実態と変化、それに対応した農地制度の変遷や構造政策の歩みを解説。農政上の集落の位置づけの経緯、株式会社の農業参入問題も言及。

### Q&A 農業法人化マニュアル2005

17-32・A4判・75頁 定価800円(税込) 7月26日刊

## 平成17年度版 農地の利用集積で地域農業の構造改革を進めよう

17-11・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月18日発行

認定農業者等担い手への農地の利用集積、地域農業の再生に向けたビジョンづくりを呼びかけるリーフレットです。農地の利用集積への支援措置も解説。

## 平成17年度版 遊休農地の発生防止と解消に取り組もう

17-12・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月5日発行

農地パトロールなど遊休農地解消策、遊休農地の活用方法、取り組み事例のほか、改正農業経営基盤強化促進法で強化された体系的な遊休農地対策を紹介したリーフレット。

## いきいきファーマー あなたも認定農業者

17-20・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月6日発行

認定農業者制度の普及・定着に向けたPRリーフレット。新たに経営改善計画記載例、経営管理チェックリストを追加。

## 魅力いっぱい農業者年金一年金の仕組みと政策支援一

17-21・A4判・リーフレット 8頁 定価80円(税込) 7月11日発行

少子高齢化時代を先取りした農業者年金制度の魅力・メリットを紹介、政策支援を受ける要件などを解説した農家PRリーフレットです。年金額の試算表も掲載。

## 魅力いっぱい農業者年金

17-22・A4判・リーフレット 4頁 定価45円(税込) 7月11日発行

上記「魅力いっぱい農業者年金一年金の仕組みと政策支援一」のうち、農業者年金制度のメリット、年金額の試算表を掲載した簡易版リーフレットです。

## 地域でつくろう担い手

17-31・A4判・リーフレット 4頁 定価30円(税込) 7月11日発行

新たな経営安定対策の検討が進み、担い手づくりが最重要課題になっている。地域のビジョン、担い手の明確化、認定農業者の確保、集落営農の組織化の必要性を訴えるリーフレット。

## 農業経営基盤強化促進法等改正のポイント

17-27・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月15日発行

農業経営基盤強化促進法、農振法、農地法等の改正の背景、改正のポイント、農業委員会の取り組みを分かりやすく解説した新刊のリーフレット。

## 消費税のあらましと農業

17-15・A4判・リーフレット 8頁 定価90円(税込) 7月22日発行

消費税の基礎知識とポイント、消費税制度の仕組みを解説。消費税の課税事業者に該当するかどうかのチェック表、18項目のQ&Aも収録。消費税の啓発に最適。

## 平成17年度版 はじめよう！青色申告リーフ

17-16・A4判・リーフレット 6頁 定価70円(税込) 7月21日発行

青色申告を始めようとする人のために記帳の義務、青申制度のポイント、申請書・届出の提出、税制上の特典を紹介したリーフ。